

位置図



事業概要

開始年度 平成22年度
 事業延長 L=60m
 事業内容 遊歩道 L=180m
 ワンド 1箇所

地域の声

- ・ワンドについて、生物を観察するには良いところである。
- ・きれいになり、ゴミが少なくなった。
- ・水質がよくなって欲しい。

事業経緯

ワーキングチーム会議(意見交換等)
 ・第1回(H22.10.26)

アンケート調査(H22.12)

ワーキングチーム会議(整備方針決定)
 ・第2回(H23.1.20)

設計(H22.7~H23.10)

工事(H23.12~H24.9)

ワーキングチームメンバー

越谷市、新方地区自治会連合会、
 新方地区コミュニティ推進協議会、
 新方川をきれいにする会、
 新栄中学校、
 弥生小学校、
 県



地域活動

新方川をきれいにする会が川の国応援団美化活動団体として清掃活動を実施するとともにワンドにて環境学習を実施

整備の状況



整備前



整備後

ワンドに近づけず荒れている。
 (H22 夏撮影)

水辺に親しめる遊歩道等が完成。
 (H24.11撮影)

- ・生物の多様性に配慮し、魅力ある親水空間の整備
- ・河川景観に配慮した歩行空間の整備

平面図

整備前のワンドの状況



石材の設置



石と石の隙間は、トカゲ、小哺乳類、チョウ等の隠れ場所、避難の場、ふ化の場、集の場として利用されます。また、ハ虫類は石の上で体温を温めます。

向畑橋



突出部
(平新川から流れてくるゴミを川岸から離す)

ゆとり空間

新方川

ゆとり空間

平新川

栄養分の少ない草地



砂利や碎石を用いて乾燥した栄養分の少ない場所を作り出します。これにより、植物の大繁茂を抑える働きがあり、散策路の脇に設けることで歩きやすさが向上しました。

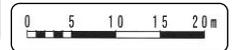
整備後のワンドの状況



石詰めネット

石詰めネット

石を詰めた円筒状のネットを置き、中州を整備。(水際の抽水植物が生えるとともにテナガエビ等の水生生物の生息空間になる。)



ワンドは流れが緩やかであり、植生の生える水際は魚の産卵や仔稚魚の生息・生育空間となります。